

## 大阪市立恵美小学校 平成 28 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【視点 健康・体力の保持増進】</b></p> <p>① 平成 28 年度の本校アンケート調査で「よい姿勢を保つように努力した」の項目でよくあてはまる・あてはまるの割合を中間までに 70%以上にし、年度末までに 75%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>平成 28 年度の本校アンケート調査で「睡眠が十分にとれている」の項目でよくあてはまる・あてはまるの割合を中間までに 75%以上にし、年度末までに 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>② 平成 28 年度の本校アンケート調査で「嫌いな食べ物がある児童のうち、それを食べようとした」の項目でよくあてはまる・あてはまるの割合を中間までに 85%以上にし、年度末までに 90%以上にする。</p> <p>③ 平成 28 年度の本校アンケート調査で「昼休みは運動場や講堂・体育館で体を動かしていることが多い」の項目でよくあてはまる・あてはまるの割合を中間までに 75%以上にし、年度末までに 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p>	C
<p>年度目標の達成状況</p> <p>① 69%で達成できていない。</p> <p>② 90%で達成できていない。</p> <p>③ 62%で達成できていない。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【健康な生活習慣の確立】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢をよくする習慣が身につくようにする。</li> <li>睡眠を十分にとるように指導する。</li> </ul>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢体操とよい姿勢ポスターを使った姿勢の確認を 1 日 1 回行う。保健だよりなどで家庭にも知らせていく。</li> <li>睡眠が十分にとれるように、児童への指導や保健だよりなどを通じた保護者への啓発を行う。</li> </ul>	
<p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢体操は 1 日 1 回行うことができた。姿勢ポスターは各学年によってばらつきはあるが成果もみられるので継続していきたい。</li> <li>睡眠時間について保護者への啓発を行ったが、結果に促らなかった。保健だよりだけではなく、懇談や日々の学校生活などあらゆる機会に声かけをする必要がある。</li> </ul>	

<p>取組内容②【食育】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>嫌いな食べ物も、食べようと努力する態度を育てる。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日の給食指導で日めくりの献立を学級で読む。また、朝の放送でも読み、食事への関心をもちなんでも食べようとする態度を育てる。</li> </ul> <hr/> <p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日めくり献立や朝の放送は効果的であった。そのことが子どもたちの食事への関心につながった。</li> <li>嫌いな食べ物がある子どもも食べようと努力する態度が見られた。</li> </ul>	A
<p>取組内容③【体力向上への支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多様な運動を体験させたり、体育的行事を充実させたりして、自分から進んで体を動かす子どもを増やす。</li> </ul> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週の体育朝会で外で遊ぶように声をかける。</li> <li>体育朝会のある日の昼休みは縦割り班でよく遊ぶ時間を設定する。</li> </ul> <hr/> <p>結果と分析・次年度に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外に出ない子どもが固定しているが昼休みの縦割り班遊びによって必然的に外へ出ることができるので効果的であった。しかし結果にはつながらなかった。</li> <li>外で遊ぶように声をかけたり、縦割り班で、遊ぶ時間を設定したりすることはできた。今年度は竹馬や一輪車に挑戦する子どもたちが多く、成果は見られた。</li> </ul>	B